

「世界と繋がろう！高校生海外留学支援事業」

欧米コース・アジアコース 募集要項

1 事業目的

海外留学の促進，国際理解教育の推進をととして，地域や県内企業を支え，宮崎から世界へ挑戦するグローバル人材の育成を目指す。

2 期日（予定）・募集人数・費用

コース	研修先	期日 ※1	募集人数	費用※2
アジア	台湾	令和6年2月23日（金）～3月3日（日）	20名	自己負担 10万円 程度
	ベトナム	令和6年3月2日（土）～3月11日（月）	20名	
	シンガポール	令和6年2月24日（土）～3月4日（月）	20名	
欧米	米国	令和6年3月2日（土）～3月11日（月）	20名	

※1 連携先との調整で変更になる場合があります。詳細な日程表は，参加決定後に連絡します。

※2 為替相場によって金額の変動の可能性があります。

上記以外に，パスポート取得費用・旅行保険代・現地交通費，食費の一部が必要となります。

3 各研修内容

研修先	台湾・ベトナム	シンガポール	米国
活動内容（予定）	・台湾・ベトナムのトップレベルの学校との交流 ・探究研究内容発表，国際交流体験，学校生活体験 ・政府機関，現地進出日系企業等への訪問，視察や意見交換等	・アジアトップレベルのシンガポール国立大学生の支援・交流 ・探究研究内容発表，現地理解，探究活動のフィールドワーク ・政府機関，現地進出日系企業等への訪問，視察や意見交換等	・世界トップのハーバード大学，MIT，コロンビア大学生との交流・探究研究内容発表，大学の講義受講体験 ・政府機関，現地進出日系企業等への訪問，視察や意見交換等
連携相手	・現地の高校生・先生 ・政府機関等の職員	・シンガポール国立大学生 ・政府機関等の職員	・ハーバード・MIT・コロンビア大学の先生・学生 ・政府機関等の職員
求めるCEFR	英語力がGTEC等でCEFR B1レベル以上が望ましい。		
宿泊	ホテル ※一部ホームステイ	ホテル ※一部ホームステイ	ホテル

【CEFR=ヨーロッパ言語共通参照枠】

B1	仕事，学校，娯楽などで普段出会うような身近な話題について，標準的な話し方であれば，主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな，たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について，筋の通った簡単な文章を作ることができる。（⇒海外高校留学レベル）
----	---

4 応募方法と決定方法

(1) 申込方法及び締切日

専用の申込サイトより申し込みをすること。

<https://www.mwt-mice.com/events/ryugaku-miyazaki2024/login>

【申込 QR コード】



締切日：令和5年11月13日(月)

(2) 募集条件

以下の条件を満たすことを条件とする。

条件
① 本人の短期留学の意欲が高く、保護者の理解と承諾が得られている。
② 以下の内容が負担可能である。 ア．パスポート取得費用 イ．海外研修費用
③ 本人は参加希望国・地域とわが国の出入国条件を満たしている。 (最新情報を外務省、大使館・領事館のページで確認した。)
④ 本人の心身は共に健康である。 例：欠席・遅刻等がほとんど無いこと
⑤ 本人は、選考試験に参加し、事前準備を行う。
⑥ 本人は、事前オリエンテーション(2回予定)に参加し、資料作成等の事前準備を行う。
⑦ 本人は、事後報告として、研修報告発表(3月)および報告書の作成を行う。
⑧ 本人は、学業にも意欲的に取り組み、学校内外の生活態度が良好である。
⑨ 本人は、英語力がGTEC等でCEFR B1レベル以上が望ましいことを理解している。
⑩ 本人は、部活動の大会や練習等と重なっていても留学事業を優先できる。
⑪ 本人は、多文化を理解しようとする姿勢をもっている。
⑫ 本人は、県内に在籍する県立高等学校(中等教育学校)の生徒である。
⑬ 参加決定後の自己都合による参加辞退は原則として行わない。

(3) 海外研修の参加希望地について

海外研修希望地については第一希望から第三希望まで希望地を記入することができます。

書類選考・面接選考の上位者から総合的に判断し、参加者の決定を行います。

選考結果により、第二、第三希望になる可能性があるのので了承の上、申し込むこと。

(4) 出願書類

下記書類を申込サイトに期限までにアップロードすること。

- ① 未成年のための旅行同意書
- ② 世界と繋がろう！高校生海外留学支援事業 願書
- ③ これまでに受験した英語技能試験の結果
- ④ 留学計画書

(5) 参加者決定方法

参加希望者には、以下の項目について、書類選考と面接選考（日本語・英語）を実施し、総合的に判断します。

①書類選考…出願書類，留学計画書をもとに，日常の学校生活における生活態度および学習へ取り組む姿勢等を評価する。

②面接選考（日本語・英語面接）

本事業に対する課題意識，学んだ成果を将来に生かす計画性を日本語・英語での質疑応答を行う。